



ホームページ



Instagram



2025
園だより

2

社会福祉法人 種の会
幼保連携型認定こども園
アルテ子どもと木幼保園

〒164-0001 中野区中野1-59-5

Tel 03-3365-0602

お知らせ

- 年間行事予定でお知らせしています通り、生活発表会は 15日（土）に開催致します。午前中で終了する予定です。詳細は後日お知らせ致します。
- 保護者会でお知らせしましたとおり、2月より欠席の連絡はChildCareWeb アプリの試行を始めます。詳細は別途メールでお送りしていますのでご確認ください。
- 来年度の延長利用/土曜日利用の申請について毎年2月中旬に次年度の申請手続きを行います。現在ご利用の方に次年度の申請書と 就労証明書をお渡し致します。4月以降、新規でご利用される方は事務所までお声掛け下さい。

• 今年度もソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」2024年度において賞を頂きました。ホームページおしらせに論文をUPしておりますので、併せてご覧下さい。



February 2 2025						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3 節分	4	5 音楽あそび 0歳児健診	6 運動あそび 発育測定 園児学会 地域（ベビー）	7	8
9	10 音楽あそび	11 建国記念の日	12 0歳児健診	13 リハーサル （園内発表会）	14 （音楽あそび 5歳のみ）	15 生活発表会
16	17 音楽あそび	18	19	20 運動あそび 避難訓練	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 音楽あそび	26 誕生会	27	28 運動あそび 地域（サーキット）	

※地域サーキット、園児学相談会、ベビーマッサージは地域にお住まいのご家族への子育て支援として開催しています。



冬の空(屋上園庭からの景色)

保護者懇談会にご参加下さりありがとうございました。少人数でのフリートークは和やかで笑い声も広がり、ご家庭での愛らしい姿や子育ての悩みを分かち合う、穏やかな時間となりました。経験豊富な保育者は、とかく正解と思うことを教えたがりですが、語り合うことで得る子育てのヒントや心持ちが、育児を楽しいものにしていくのではないかと感じました。一方的な説明より、お互いに刺激し合って何かに気づき変わっていける関係がステキだなあと思います。信頼でつながる仲間の輪は、子ども達だけではないのですね。そんな安心感ある子育ての輪を地域のご家庭にも広げていけたらと考えています。

園長 山田寿江

ごっこ遊びから幼児劇へ

年齢や性別に関係なく楽しむごっこ遊び。ままごと遊びは、1歳頃の「真似っこ」から始まります。大人の生活を真似て再現する様子は微笑ましいものです。2歳頃は「見立て遊び」が盛んになり、日常的なセリフは大人の言い回しにそっくりです。3歳頃では語彙力にも磨きがかかり、やりとりの面白さを体験します。幼児になると子ども同士で役割を決め、イメージを共有し展開していきます。役になりきって疑似体験することで、他者理解や情緒面での成長も促されます。幼児の劇発表では、物語の展開に合わせて演じていきます。

節分では、怖い鬼を退治するための鬼になりきるクラスもあるようですよ。



鬼が島(0歳実践から)

「やりたい！」の原動力は？

生活発表会へ向け4歳・5歳ナノ組では、観てもらうことを意識した「劇づくり」を進めています。先日、会長（よっぴー）に劇練習を観てもらう機会がありました。年中さんは、恥ずかしがる様子はあるものの終始楽しく笑顔がこぼれます。やや緊張ぎみの年長さんは、セリフがしっかり入っていると褒められて得意な表情でした。やる気が出るともっとやりたい！と取り組み、できるようになると自信を持ちます。大人の理想を押し付けるより、子ども自身のなりたい姿に向かってサポートしていきます。



5歳ナノ組では、演劇のプロでもあるお父さんに、子どもの“こうしたい”を叶える視点からレクチャーしてもらいました。アラジンを通して何を伝えたいのか？ セリフの中で一番伝えたいことは？ ①セリフのどの部分を強く言ったら良いか？ ②セリフは間違えても行動を続けることが大事！ 劇は一人ではできないので、みんなで創っていくもの。③相手を輝かせることがみんなの仕事と、教えていただきました。具体的なレクチャーも分かりやすく、表現力がその場で変わっていく様は見事でした！プロの指導を受けて、これからのお稽古にも力が入ります。当日をお楽しみに！

本番は一人ひとりが主役です。大好きなお家の人や間近で笑顔や拍手で応援してくれる舞台前の優先席は、子ども達にとっても特別な席です。当日は、舞台に立つ子ども達と共にドキドキ、ワクワクし、臨場感を味わいながら、温かい眼差しを送っていただければ幸いです。



これは何かなあ？

主幹教諭：中村

3歳児クラスの友達が屋上園庭から戻ってくる際、階段上の壁に黒い物がついていました。

「あれなんだろうね」と保育者が尋ねると、「虫じゃない？」

「ゴミだよ！」と子どもたちが言い始めました。

高い場所の為、背伸びや首を一生懸命伸ばして必死に見ていると、全く動いていない事に気がつきました。

「本当だ、動いていないね」と、保育者が言うと「足が骨折していて、動かないんだよ」と返事が返ってきました。

想像力の広がりにより、現実に体験したことや、絵本など想像の世界で見聞きしたことを重ね合わせるなどします。又、心が人だけでなく、他の生き物にもあると信じるなどします。

子ども達は様々にイメージを広げ、友達と共有しながら想像の世界の中で、ごっこ遊びに没頭して遊ぶことを楽しみます。

2歳児クラスから5歳児クラスは、発表会の取り組みが多くなってきました。繰り返し行っているうちに、表現の仕方や声の大きさなどがかわっていきます。当日はどんな姿がみられるか、今から楽しみです。



一緒がいいお年頃

主幹教諭：黒木

Aさん「先生、なにやってるの？お皿作ってるの？わたしも作りたい！」
Bさん「だめだよ、わたしやりたくないもん！Aちゃんはわたしと遊んでるでしょ！」

Aさん「あ、そうだった。やっぱりやらな〜い」

4歳ナノ組さんは友達との関わりが密接になり、仲良しの友達とは何でも一緒が良いようです。Cさんがアイスのをせるお皿を作れば、Dさんもアイスのせるお皿です。Eくんはサツマイモを入れるお皿を作っていたのですが、数日後、「先生、やっぱりね、トウモロコシのお皿にする。だってなが〜くしたから置きやすいよね……。それにFくんと同じトウモロコシにしたいんだよ〜」

写真は背の高さを比べているのかと思いきや、同じ高さになるようにしているとのこと。本当に一緒が嬉しくて仕方ないのですね。



表紙の絵

5歳ナノ組のまことくんが作ったカルタの1枚。イタリア語のQUADOROのQUを表す“作品”を描きました。作品を入れる額の写真をいろいろ見て研究してから、額の中に富士山を描いたそうです。

今月の園だよりのテーマは生活発表会に向けての様子です。



AtoO

好きなものを見つけて遊んでいます

入園した頃は、泣きじゃくる子ども達をなだめようと、手遊びをしたり、わらべ歌を唄ったりしていたのが、遠く感じられるほど、子ども達は成長しました。

今では絵本を持って来て読んで欲しいことを伝えたり、ゼスチャーや「アンパン」と言って手遊びをリクエストしたりして、自分の好きなものを見つけて遊ぶようになっていきます。

Kくんは、絵本の中に描かれている星を見つけると「きらきらひかる……」と歌いながら、手をひらひらさせて自分の世界に浸っていました。

アンパンマンの手遊びも、キャラクターの違いを手や体で表して、最後の「ワン！」も声に出して言えるようになりました。



『からだ☆ダンダン』で一体感

そんな子ども達に大人気なのが、Eテレ『おあかあさんといっしょ』の『からだ☆ダンダン』体操です。

昨年の9月頃、Hくんが伸ばした自分の腕を握りこぶしで叩いて何かを伝えてくるようになりました。それが、この体操でした。

保育者が体操の音楽を流すと、Hくんの表情がパッと明るくなりました。膝を曲げ伸ばししてリズムに乗っている姿は、言いたいことが伝わった嬉しさと、体操する楽しさにあふれていました。

この頃では、みんなが一人で歩けるようになり一緒に体を動かして、友達との一体感を心地よく感じているように見えます。

初めての生活発表会では、どんな姿を見せてくれるでしょうか。慣れない雰囲気緊張してしまうかもしれませんが、子ども達の成長をかみしめながら、温かく見守っていただくと嬉しいです。



Ato1

動くって楽しいな

1歳アート組になった当初から朝夕のお集まりにて歌に触れ、歌ったり、身振り手振りをしたりして遊んできました。

お気に入りの曲は♪むっくりくまさん

「眠っているよ〜ぐうぐう」

「目を覚ましたら〜食べられちゃうぞ〜ガオ〜!!」

最後の場面でクマ（保育者）に食べられないように逃げるというやりとりが楽しく、子ども達は嬉しそうにかけていきます。

以前までは身振り手振りだけだった身体表現が現在では、歩く、寝転ぶ、片足で立つ、腕を回すなど様々な体の動かし方ができるようになりました。

保育者は「この動きをしなさい」と教えたことはありません。保育者が一緒に遊びながら、子ども自身が“やってみたい！楽しそう！”と感じ、真似するようになったことで自然と獲得したのでしょう。♪トンボのめがねでは、腕を羽のようにして走る動きをする子や座ったままで体を左右に揺らしてリズムを取る子と様々います。子どもの“やりたい、試したい動き”を見守りながら遊んでいます。



子どもの心に耳を傾けて

生活発表会にて鈴を腕につけて遊ぶ場面があります。

鈴を子ども達に手渡そうとすると、どうなると思いますか？

子ども達は我先にと押しかけ、タイムセール会場のようになります。しかもそこに、“色の指定”が入ってくるわけです。

「青が良い」「〇〇ちゃんの赤だった」と取り合ったり、希望の色がもらえないと怒ったり泣いたりリズム遊びどころではありません。ここまで執着できるのはこの時期ならではの事です。

担任達は子ども達が気持ち良く鈴を受け取る方法を考えました。（人気の色の鈴を追加で購入する？帽子入れのように自分の写真のついたポケットに鈴を入れる？複数のカゴに鈴を入れておく？）いくつかの方法を試した結果、2つのウォールポケットに鈴を入れておき、子ども自身で選ぶという方法に決めました。鈴を選ぶ際、混み合う場面はあるものの、自分で選べるのが嬉しいようで、「何色がいい！」と主張する姿はありませんでした。担任は一安心です。この1年間、子ども達の主張をなるべく受け止め関わってきました。私達の関わりが子ども達の満足感につながっていたら嬉しいです。当日はどんなドラマが生まれるのでしょうか？温かく見守ってください。



PICO2

“もうすぐ、生活発表会！”



2月15日は、生活発表会です。2歳クラスも幼児クラス同様、舞台上に立って劇を行います。今年の2歳さんは絵本が大好きなので、「どうぞのいす」を題材にすることにしました。まず絵本を読んで、どの役につくか子ども達と話しました。

すると、予想はしていましたが、うさぎを希望する子どもが8人いました。なるべく好きな役についてもらいたいのですが、うさぎ役8人は多すぎます。何人かりすに変わってもらえないかと、子ども達に声をかけました。するとAくんが、「りす？いいじゃないか。やるよ。」とすんなり引き受けてくれました。しかしBくんは、「僕、うさぎさんがいいの！うさぎさんやる。」というので、「わかった。じゃあ、うさぎさんよろしくね。」とBくんに同意しました。でもりすに変えられるのではないかと不安になったのか、一日中「僕、うさぎがいい。うさぎやる！」と言い続けていました。そして、あんなにうさぎ役がいいと言っていたBくんですが、練習で劇ごっこをすると、りす役の友達にくっついて一緒に舞台に出ようとしていました。もしかしたら、りす役にも魅力を感じていたのかもしれないね。

“お昼寝の時もつけていたい！”

練習では、それぞれの役のワッペンをつけています。ひとり一人の胸にうさぎやりすのワッペンをつけると、子ども達のモチベーションがぐんと上がっていくのがわかります。くまさん役のCさんは、ワッペンがとても気に入って、「先生、ずっとつけていてもいい？お昼寝の時もつけていたい！」と言って、劇ごっこの後、室内でままごと遊びをしている間もずっとワッペンをつけていました。ワッペンは紙でできているので、友達とくっついたり、お皿や食べ物やかごを運んで遊んでいるうちに、端の方がめくれてきてしまいました。Cさんは午睡時間になる前に、「先生、やっぱり取る。」と言ってワッペンを保育者に渡しながらか、「また明日も使える？」と心配そうな様子です。次に使うことがわかっていたので、ワッペンをつけて寝ることを我慢している様子でした。

このように本番まで、繰り返し劇ごっこをしていきます。生活発表会では、舞台上に立って、大勢の人の前でセリフを言います。初めての経験で、緊張して舞台に出られない子どもやセリフが言えない子どももいるかもしれません。もし思うようにできなくても、成長の過程で大切な経験になることでしょう。子ども達が「どうぞのいす」の劇を通して、どのように成長するのか、とっても楽しみです！



Nano3

「てぶくろ」

3歳クラスでは、生活発表会で「てぶくろ」の劇をやります。音楽遊びでは動物になりきって遊ぶことが大好きなクラスなので、たくさん動物が出てくる題材にしようと思い、この題材に決めました。初めて絵本を読んだ時から、てぶくろに入っていき動物の名前を自然と覚えて繰り返し言っていました。こどもの記憶力には驚かされます。



なりきって

登場する動物は全部で7匹。くいしんぼうねずみ、びよんびよんガエル、はやあしうさぎ、おしゃれぎつね、はいいろおおかみ、きばもちいのしし、のっそりぐまです。それぞれの動物に歌があり、歌詞が異なります。お面をかぶるとその動物になり切って動き回ります。その笑顔はたまりません。



“ぼたんゆき”って何？

何度か歌って歌詞も覚えてきました。歌詞の中に「しんしんふりつむ ぼたんゆき」とあります。

するとお昼寝の前にT君がぼつり。「ぼたんゆきって何？」と言いました。そこでぼたんゆきとは何なのか、お集まりでみんなで考えてみる事にしました。聞いてみると、「大きな雪」「丸い雪」などがでました。次に「ぼたんって何かな？」と聞いてみると、「洋服留めるやつ」との答えが出ました。それも同じボタンです。

ぼたんゆきは降る途中で雪同士がくっついて大きくなった雪のこと、牡丹という花があってそれみたいに見えるから牡丹雪と言われていることを話しました。



あ、てぶくろ見つけた！

散歩先の公園のベンチにてぶくろが片方残されていました。

「てぶくろ落ちてる！」と子どもが発見すると、「え、どこどこ」「ほんとだ！」とみんなが集まってきました。

「ほんとに動物がいるんじゃない？」と顔が期待に満ちていました。

「あなたはだあれ？」「くいしんぼうねずみ！」

と劇の掛け合いをして楽しんでいる子や、

「なんかおじいさんの匂いがするよ」

と手袋を嗅いでいる子もいました。

この手袋も持ち主が戻ってきて無事に拾われますように！



Nano4



～もうすぐ発表会～

1月に入り、2週目からはいよいよ発表会に向けた取り組みが始まりました。子ども達は、「発表会まであと何回寝たらくるんだろう？」と、とても楽しみにしています。その頃から子ども達は本番の日がいつなのか気になり始め一緒にカレンダーを見ながら「後32回寝たら発表会の日だから！」「それまで練習頑張ろうね！」と話しました。子ども達の中で32回は長いのか？短いのか？どう感じたのでしょうか。子ども達は「ヤッター！」と凄く喜んでいたので思い出します。

さて、今年の題材は「ももたろう」に決まりました。子ども達との役決めは何度かお集まりをする中で決めたのですが、これまたスムーズにはいきません。事前に子ども達には「一つの役に何人もの子が手を挙げた場合はどうしますか？」と提案していたので「あっちむいてホイで決めよう！」や「じゃんけんで！」などの意見がありました。じゃんけんに決まりました。案の定、動物役は大人気！じゃんけんをして負けてしまった子は他の役を考えます。全く手を挙げない子もいました。「なんででしょう？」本人に聞いてみました。「鬼が怖いから嫌なの！」「村人も鬼が怖いから嫌なんだ！」と、そう言う気持ちもあったのだな？と考えさせられました。毎年、役決めの際は誰かに譲ってあげたりする姿や、この役は難しいからと変更になる事があるのですが、今回もそう簡単には決まらずのスタートでした。



練習が始まると、最初は場面ごとに行いますが「僕はまだ？」「私はまだ？」と自分達の出番をとても楽しみに待っていました。でも、ここでもそう簡単にはいきません。セリフが思うように出て来なかったり、動きが思うようにいかない事でやる気がなくなってしまう事もありました。「もう飽きた！」と口にする子もいました。担任としても、「どうしたらいいのか？」と、頭を悩ませる日が続いていましたが、そんなある日偶然5歳の劇を見る機会がありました。子ども達も「見たい！見たい！」とほとんどの子が椅子を持ってホールに集まっていったのです。最初から最後まで年長児の姿を真剣に見ていた子ども達。終わってからは「最初の音楽の所が凄かった！」「〇〇君の所が楽しかった」と、動きを真似して「〇〇ちゃんが上手で楽しかった！」と、かなりの刺激を受けたようです。「早くやってみたい！」とすでに来年度を見据えている子ども達！ここから再び切り替えてることが出来ました。

NANO5

～文字への興味関心～



最近『漢字』にも興味関心が芽生えてきた5歳さん。子ども達からは「坂本の坂」「東京の京」など興味のある事から吸収している様子が見られます。そんな姿を見て、クラスでは給食メニューの名前の由来に意識を向けるようになりました。「松風焼き」「幽庵焼き」など漢字の意味を知らながら味を楽しんでいます。

行事でも、「巳年」を墨で書く、劇のシナリオを文字で記して確認するなど、文字との関わりを増やしていきました。すると、漢字の書き順にこだわったり、自分のシナリオがあることに喜びを感じながら友達と一緒に見せ合いっこをしたりと、積極的に文字と向き合う姿が見られました。



～アラジン～



役決めをしてから、日々子ども達は劇を楽しみにしています。

クラスみんなで『アラジン』を鑑賞しました。するとやはり子ども達から笑いが多かったのはジーニーが出てくるシーンでした。子ども達がやる劇も、アラジンとジーニーの友情を描いたシナリオになっているので、どんな演技が見られるのか楽しみです！

また、それぞれの役がいないと物語は成り立たないという所にも意識が向いていて、自分の役をしっかりと演じられるように何度もシナリオを確認する姿に成長を感じます。

「なにしてるの?」「なに作ってるの?」と興味津々で声を掛けると、保育者が進めている小道具の作り物も手伝ってくれています。今回本当に驚いたのは、子ども達の台詞覚えの早さと高い意欲です！それぞれのシナリオを配り数回読み合わせをすると、期待を上回るスピードで覚え、長めの台詞や難しい言葉の入った台詞をしっかりと言うことができていました。毎度子ども達の力の大きさには驚かされ、助けられています。

本番まで楽しみにしててください！





Atelier



1月から誕生日プロジェクトではメンバーが変わり、最後の3か月の活動に入りました。プロジェクトの始まりの前に子どもたちに必ず聞くことがあります。この対話こそがよいものを作り出していくカギになります。

ケーキってなんで作るんだろう？ どうして5歳さんがケーキをつくるんだろう？ なぜ？

すると自信ありげに挙手をして

“みんなをおいわいするため！” “うれしいきもちになるから！”と答えます。お祝いしてもらった時に嬉しかった経験や喜びが心に残っているのでしょうか。友だちの喜び笑顔を想像し、その思いが言葉に出てきた瞬間です。

じゃあなんで5歳がケーキを作るのかな？

“5さいさんがえんで1ばんおおきいから”

“5さいさんはえんで1ばん背がたかいから！”

きっとこの言葉の奥には保育園で1番大きい＝何でもできる存在、年長という意識、自信もあり、自分たちだから出来る事をその子なりに理解しているような気もしました。



1月のケーキのテーマを話し合い始めると

『おもちつき！ はなもちもね』

(話し合いの初日がおもちつきをした日でした)

『おれは～。おでんかな？ソーセージの』

『こたつがいいとおもう』

『白とピンクのおもちをつくりたい』

経験した事から繋がってそれぞれのイメージがまた一つの形になっていくプロセスを楽しみたいと思います。



日本の伝統行事にはとても興味深い言い伝えや意味が込められています。節分製作では『鬼は外、福は内』の文字をしっかりと見ながら書いて真似るといった経験もしました。

(3歳児クラス)



ほけんだより

みなさんは便秘になった経験がありますか？子どもでも10人に1人は便秘症だと言われています。特に離乳で食事に変化するとき、トイレトレーニングの時期、学校へ通い出したころなどに慢性便秘症を発症しやすくなります。便秘は「よくあることで、たいしたことはない」と思われがちですが、悪化すると便が固くなりすぎて、排便時に痛みや出血、腹痛などを伴います。園でも、痛みが強く泣きながら排便をする子ども達があります。苦痛を伴うことがわかると排便を我慢して、さらに便秘が悪化するなど悪循環につながります。便秘だからと放置せず、適切な治療を受けることが大切です。朝ごはんをしっかり食べると腸の動きが活性化され、スムーズな排便につながります。まずは規則正しい生活を心がけましょう。

今回の保健指導は「からだの仕組み」です。食べ物はからだの中をどのように流れ、便となり排出されるのかを学び、心臓や肺、腸などの臓器がどのようにつながっているのかをグループに分かれてパズル形式で並べてもらいました。



Aちゃんは「いつも胃が痛くなるのはここだから胃はお臍の近くじゃない?」、Bくんは「気管は2つに分かれているけど、どこで分かれているんだろう?」と自分の意見を伝えながらグループで話し合いパズルを完成させていました。

小腸の長さが6メートルもあると知ったCくんは「長くて入らないからグルグルになってお腹の中に入ってるんだね」とからだの構造について考えていました。

Dちゃんは答え合わせ後、もう1回やりたいと一人でパズルに挑戦し、2回ほどで完璧に臓器の位置を覚えていました。



発育測定 2月 6日(木)

0歳児健診 2月 5日(水)

2月12日(水)

保健指導予定 耳について



食育だより

We want to cook delicious food



まだまだ寒い日が続きますが、暦の上ではもう春です。これからの季節は、暖かかったり、寒かったりと、日によって気温差が激しくなってきます。季節の変わり目は体調を崩しやすくなるため、たくさん食べて体力をつけていきましょう。



コーンフレーク砕き

鶏肉のコーンフレーク焼きに使うコーンフレークを、0歳さんがバリバリと手で砕いてくれました！職員がお手本を見せると、上手に揉んで砕いたり、床においてつぶして砕いたりしていました。途中お腹が空いてきたのか、コーンフレークの袋を開けようとしている子もいました。



節分



節分とは季節の分かれ目という意味で、本来は年に4回ありますが、旧暦では春が1年の始まりとされていたため、立春の前日の節分が特に大切にされました。季節の分かれ目には邪気が出るとされ、邪気払いのために豆まきが始まったそうです。園では節分の日に、鬼が嫌うとされるいわしや、さつまいもが鬼のツノや金棒を連想させるおに蒸しパンを提供予定です。

のりサラダ

5歳さんがのりサラダを和えてくれました！調味料を小分けにしていたので、1つずつ見た目やにおいで調味料を当てるクイズをしました。量を調節しながら味付けをして、のりを入れよく混ぜてくれました。自分たちで和えたサラダは特別だったようで、完食でした。

アルテの畑

畑で採れた大根を色々な形に切り、干して切り干し大根を作りました！切り干し大根を水で戻す段階で、いくつかの乾物も実験として一緒に戻しました。切り干し大根はおやつと一緒に提供したのですが、おかわり続出できれいに完食でした。



2月の行事食

3日(月) 節分

〔昼食〕

ご飯、いわしのかば焼き

かぶのおかか和え、豚汁、みかん

〔おやつ〕

おに蒸しパン

14(金) バレンタインデー

〔おやつ〕

バレンタインケーキ

26日(火) お誕生日会

〔昼食〕

ロールパン、チキンカツレツ風、

ブロッコリーとツナのサラダ、

ミネストローネスープ、りんご

〔おやつ〕

お誕生日ケーキ(ココア・いちご)



2月の旬の食材

はくさい、菜の花、こまつな、みずな、春菊、ブロッコリー、カリフラワー、かぶ、だいこん、いちご、りんご、ポンカン、いよかん、みかん、いわし、かれい、さば、たら

